

但馬の青少年

令和7年3月
但馬青少年本部だより第64号
編集・発行

但馬青少年本部

〒668-0025豊岡市幸町7-11
但馬県民局県民躍動室県民課
TEL0796-26-3648 FAX0796-23-1476



★卓球 男子シングルス
豊岡市立豊岡北中学校3年生
寺嶋 恭平君



第73回近畿中学校総合体育大会 優勝
第68回兵庫県中学校総合体育大会 優勝



青少年育成の要は 「家庭、学校、社会の 強い絆」をつくること

但馬青少年本部長

石田 俊一

冬ごもりをしていた小さな庭の南の隅に、今年も無事に「蠟梅（ろうばい）」が黄色の可憐な花を見せてくれました。「奥ゆかしさ」「慈しみ」「慈愛」の花言葉は慎ましい日本人の姿をうかべ一層私を好きにさせてくれます。あらためて自然と四季の恵みに想いを深くしています。しかし春の気配を感じながら時を振り返りますと、一年前の正月元旦に直撃された能登半島地震災害の衝撃があまりにも深刻で、復興を願い祈りながらも今も癒されることは叶いません。またコロナ禍の災厄にもいまだちを持ち続けていますが、殊に三密を避けた社会生活の進み方に、私たちの青少年育成活動の取組にも取り返し難い後遺症を残していることを忘れてはなりません。

国難ともいわれている困難な「節」に遭遇している私達はどのように覚悟すればよいのか。竹の「節目」が例えとして挙げられることがあります。「長く伸びる竹は円筒形をしていて中は空洞です。これを支えているのが一つ一つの節です。節は成長点としてタケノコから成長して行きますが、円筒形の中に「強い節」をもつことで強風などに負けず粘り強く成長していくのです。」と教わりました。私たちもこの困難な節目を粘り強く乗り越えて行きます。

あらためて今年度の青少年本部事業の第34回但馬中学生からのメッセージ、第10回山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会兼第34回但馬小学生駅伝競走大会での子ども達のあの表情と目の輝きを思い浮かべますと、この子ども達のために私たち親そして大人の使命と責任は何か、それは「自分自身」と「家庭と社会」の健全な後継者を育てること。そして「強い絆」で結ばれる「家庭、学校、社会」をつくること。その強い覚悟を私は願ひ続けます。

★ 山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会 ★

今年度は10月26日（土）に全但バス但馬ドーム周辺駅伝コース（豊岡市日高町名色）で、第10回山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会兼第34回但馬小学生駅伝競走大会を開催しました。この大会は長距離を通して個人の心身を鍛えるとともに、1本のタスキをつなぎながらゴールを目指す中で、仲間意識の醸成を図り、山陰海岸ジオパークエリアの小学生同士の府県を超えた交流を図ることを目的としています。

今年度からクラブチームのオープン参加を認める改正を行ったところ、但馬地域、鳥取県鳥取市、岩美町から29チーム（内、クラブチーム2チーム）総勢220名の小学生が参加しました。穏やかな天候に恵まれ、沿道には家族や先生、友達の熱い応援が響く中、参加者全員が練習の成果を発揮し、全力で走り抜けました。

| 順位 | チーム名 | タイム |
|----|-------------|--------|
| 1 | 豊岡市立五荘小学校 | 45分11秒 |
| 2 | 豊岡市立新田小学校 | 46分13秒 |
| 3 | 豊岡市立八条小学校A | 46分29秒 |
| 4 | 豊岡市立八条小学校B | 46分59秒 |
| 5 | 豊岡市立日高小学校 | 47分07秒 |
| 6 | 養父市立関宮学園A | 47分18秒 |
| 7 | 豊岡市立田鶴野小学校A | 48分31秒 |
| 8 | 豊岡市立城崎小学校 | 48分45秒 |



★ 但馬中学生からのメッセージ ★



8月7日（水）、但馬文教府で中学生の弁論大会を開催しました。但馬管内6ブロックの代表が日常生活や団体活動の体験を通して、考えていること、感じていることや未来への希望、提案などを主張しました。

村岡中学校3年生の西崎佐智さんが最優秀賞の「但馬青少年本部長賞」を受賞。祖母の戦争体験談を基に、修学旅行で学んだことを「祖母の戦争体験を語り継ぐ」というテーマで発表されました。極度の食糧不足や物資の欠乏に苦しんだ戦時中の生活と平和で豊かな現代の生活を比較し、その違いに驚きを隠せない様子を率直に表現していました。また、修

学旅行で訪れた靖国神社の展示品と祖母の話を重ねることで、戦争を憎み、平和を尊ぶ気持ちを高める様子が明確に伝わってきました。戦争の不条理を学び、学んだことを広く伝え続けることが、世界平和の基盤の一つになると思います。

西崎さんは但馬代表として、9月28日（日）に開催された県大会で多くの聴衆の前で堂々と発表し、奨励賞を受賞しました。



○但馬青少年本部長賞（最優秀賞）……………

「祖母の戦争体験を語り継ぐ」

香美町立村岡中学校 3年 西崎 佐智

○但馬中学校長会賞（優秀賞）……………

「二つの命」

新温泉町立浜坂中学校 3年 藤田 鈴

「普通のその先に」

豊岡市立出石中学校 3年 柳本 悠貴

○奨励賞……………

「偏見に負けないヲタクに」

養父市立関宮学園 9年 黒田 璃人

「人と人をつなぐもの」

朝来市立梁瀬中学校 3年 水谷 真咲

「一つの行動で」

豊岡市立港中学校 3年 久保 優奈

★ 但馬青少年本部長表彰 ★

地域で日常、地道にしかも他の模範となるような活動を進めている青少年、青少年指導者及び青少年団体、グループ等を表彰しています。今年度は8月7日（水）に但馬文教府で表彰式を行いました。

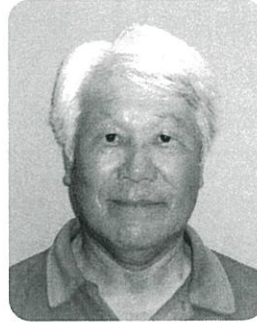
平成7年度から実施しており、これまで青少年、青少年指導者の部66名、青少年団体・グループの部77団体が受賞。令和6年度の受賞者・団体は、次のとおりです。 ※敬称は省略しています。

◆青少年、指導者の部（2名）◆



●^{むらお}村尾 ^{ともこ}智子（豊岡市）
ガールスカウト活動

令和2年度から5年間、ガールスカウト兵庫県第61団で中高校生部門の指導者として活動。廃油での石鹸づくりや、ジェンダー平等の課題への取り組み、地域住民とのふれあい活動など、多岐にわたる活動に子どもたちと一緒に取り組まれた。



●^{みやかわ}宮川 ^{こういち}光一（豊岡市）
スポーツ

昭和47年10月から令和5年3月まで50年以上の長きにわたり、地元豊岡市竹野町の竹野ミニバスケットボールクラブの監督として小学生の指導に力を注ぎ、青少年の健全育成、並びに地域スポーツの向上、発展のために尽力された。

◆青少年団体・グループ等の部（1団体）◆

●^{やぶたいに}養父太鼓 ^{こい}鼓彩（養父市）文化

園児から高校生までの子どもたちを対象に、礼儀と節度を重んじる指導方針のもと、演奏技術の向上を目ざして練習に励んでおり、日本太鼓ジュニアコンクール（毎年開催、出場18歳まで）に兵庫県代表として6回出場し、優秀な成績を収めた。また、練習成果の披露として、養父市を中心に県内で広く地域の催しや福祉施設での慰問演奏を行っている。



★ 青少年を守り育てる県民スクラム運動の推進 ★



青少年を取り巻く環境浄化を進めるため、今年度は生野・朝来・梁瀬中学校区、夢が丘中学校区、豊岡南中学校区で、それぞれの小中学校PTA、警察、市町担当者と合同で有害環境実態調査を行いました。青少年愛護条例の説明を聞いてから実際に各店舗を立入調査し、条例遵守を依頼しました。併せて、放課後・夜間の街頭パトロールやイベント・研修会などでのチラシや啓発グッズを配布した啓発活動なども行いました。

また、青少年本部構成団体（27団体）や市町、警察など青少年の健全育成に取り組む団体が一堂に会する「但馬地域スクラム会議」を7月2日に県豊岡総合庁舎で開催し、情報共有や対応策の協議を行いました。



★ 但馬青少年本部構成団体の活動 ★

こころ豊かな人づくり

500人委員会但馬OB会

「但馬まるごと感動市」でバルーンアートと風車づくり

令和6年11月9日(土)・10日(日)、イオン和田山店で開催

された「但馬まるごと感動市」に出展し、青少年の健全育成を目的とした啓発活動と併せて、バルーンアートと風車の作成・配付を行いました。

今年の感動市は快晴に恵まれ、例年に負けない盛況ぶり。10時を過ぎると来場者が増え始め、次第にてんてこ舞いの状態となりました。それでも花や剣のバルーンを持って喜ぶ子ども達の笑顔に励まされながら、「無理せずできる範囲でやりましょう」と声を掛け合いながら進めました。結果、バルーンは1,400本、風車は500個を作成し、無事にイベントを終えることができました。

但馬青少年本部 座談会

社会情勢が大きく変化する中、但馬の子ども達や教育現場はどのような状況にあるのか。現状や課題への理解を深め、子どもへの関わりや教育のあり方について考える際の参考としていただくため、但馬で教育に携わる方々にお話を伺いました。[令和7年1月10日、県豊岡総合庁舎]

座談会出席者（敬称略）

神戸 剛（兵庫県教育委員会但馬教育事務所長）
能登琢也（但馬中学校長会長（豊岡南中学校長））
吉岡靖麿（但馬小学校長会長（新田小学校長））
片岡輝嘉（但馬PTA協議会長（広谷小学校PTA会長））



テーマⅠ：但馬の子ども達

—但馬の子ども達について、児童生徒の様子を通して感じる事、気になる事などをお聞かせください。

吉岡 但馬の小学生は正直で素直な性格の子どもが多いと感じています。様々な行事に対して前向きに取り組む姿勢が見られます。



吉岡会長

コロナ禍を経て一人一台タブレット端末が導入され、個々のペースで学ぶ機会が増加しています。また、大型テレビを教室に設置し、タブレットとつなぐことで子ども達の学習状況を大型テレビに映し出すなど、授業のデジタル化が進んでいます。一方でスマートフォンを持つ子どもが多く、SNSの活用やマナー、危険性の教育が急務となっており、いじめ問題を含む重要な課題であると考えています。

能登 但馬の子ども達は相対的に素直で素朴、人懐っこい生徒が多いと実感しています。また、家庭や地域の協力が非常に強く、子ども達も地域の様々な活動に参加させてもらい、大切に育てられていると感じます。

その根拠として、全国学力・学習状況調査の「今住んでいる地域の行事に参加していますか？」という質問への回答が、豊岡市では全国平均よりも約20~30%高い結果が出ています。おそらく但馬のどの市町でも同様の傾向だと思います。都市部の子ども達と比較すると、但馬の子ども達は地域の行事に参加している割合が約30%も高いのです。これは地域の支えによるものだと考えています。

片岡 その地域活動でのことで気になっていることがあります。それは子ども達の体力の低下です。私の地区では秋祭りに子ども達が神輿を担いで村を練り歩きますが、途中で歩けなくなる子どもが多かったことに驚きました。登下校でも、天候が悪い日には親が子どもを送ってしまうことが多く、帰宅時の午後3時頃に

は校門周辺に渋滞が発生しています。そうした影響が出ていているように思います。今の子ども達の基礎体力の無さを目のあたりにして、その重要性を痛感し、今年度のPTA活動の目標としました。

全て「危険だから」との理由で保護者が子ども達の活動を抑制することは望ましくありません。最初は誰もが未熟ですが、様々な経験を通して怪我をして危険を学ぶものです。致命傷を避けるように管理することが、保護者の責任だと思います。生徒や親が本当に必要なことを見極めることが求められていると感じています。



片岡会長

神戸 仕事上、学校訪問によく行きますが、どの学校でも子ども達から大きな声で挨拶があり、その明るさに心が温まります。また、但馬のどこの学校も廊下や教室の清掃が行き届いていて、いつも感じます。これは先生方の指導によるものだと思いますが、子ども達が学校や校舎に対して愛着を持っているのだろうと感じ、とても嬉しく思います。

但馬県民局が作成した「但馬地域ビジョン2050」の子ども達へのアンケートの中に「幸せ実現のために2050年の但馬はどうあればいい？」という質問があります。子ども達は新しい魅力的な店舗が増えることや、通信環境の向上、スマートフォンの自由な利用などを望んでいるのかと思いきや、最も多くの回答が「自然がいっぱいで守られている」というものでした。子ども達が自然を身近に感じ、地域に対する愛着を持っているからではないかと感じます。それは地域の方々の協力によるものであり、地域活動や様々な催しに参加していることとも関連していると思います。

テーマ2：但馬の教育現場

— 「教員の働き方改革」という言葉をよく耳にしますが但馬の教育現場はどのような状況ですか。

神戸 学校の教員は非常に多忙だと思います。日々の教育活動に熱心に取り組まれているため、その分、忙しさが増しているように思います。忙しさの原因は様々ありますが、いじめや特別な支援を必要とする児童生徒、不登校の問題など、教育課題が多様化、複雑化していることが挙げられます。

県教育委員会では勤務時間の適正化に関する先進事例集「GPH100+」を作成し、現在の171の事例を紹介しています。効率的な業務の進め方や勤務時間短縮の方法など、役立ちそうなものはぜひ積極的に活用していただきたいです。また、印刷業務や電話対応などの支援を行うスクールサポートスタッフの配置を進めています。

能登 学校業務には多くの新しい要素が加わっており、様々な「〇〇教育」が増えています。環境教育、安全教育、福祉教育、性教育、キャリア教育、情報教育、プログラミング教育、防災教育、租税教育、国際理解教育等々、新たな課題が次々と生まれています。



能登会長

文部科学省も様々な業務の仕分けを行っていますが、学校以外に業務をお願いした場合、実際に引き受けてくれるのかという問題もあります。但馬の教員は非常に真面目で熱心です。真面目で熱心な教員ほど忙しくなっているのが実情です。

片岡 「誰一人取り残さない教育」という理念が教員にとって大きな負担となっているように思います。この考え方は、取り残されない子ども達にとってはありがたいことですが、優れた学力を持つ子ども達が抑制される可能性があるのではないかと懸念しています。この点については、PTAでも共感する意見が多くあります。

また、地域に残りたい、帰りたいという思いを育む教育についても重要な課題であると感じています。Uターン・Iターンに対しては比較的手厚い支援策がありますが、高校を卒業して地元に残り、地域を支えようと決意した若者への支援が十分でない現状があります。

吉岡 小学校では、いじめや不登校の問題が存在し、近年、不登校は特に大きな課題となっています。これらの問題に対応するため業務の負担が増加することもあります。同時に働き甲斐も大切だと考えており、教員が情熱を持って取り組む事で、心と心が通じ合い救われる子ども達がいることも事実です。

但馬地域ではコミュニティスクール制度が全ての小学校に導入されています。登下校の見守りや読み聞

かせなどに地域ボランティアの皆さんに参加して頂いており、例えば小学校2年生の九九の学習において、地域の方々が授業に参加され、効率的な指導につながっています。地域の方々が学校の教育を支援する動きが具体的に進んでいると感じています。

神戸 さまざまな問題が複雑化しているため、学校だけでは対応しきれないことが多く、地域の力が非常に重要であると考えています。

今年度、但馬のすべての小・中・義務教育学校がコミュニティスクールになりました。地域の力を生かすことにより、これまで以上に教育活動が充実するとともに、先生方の負担が少しでも軽減されればと、期待しているところです。

テーマ3：未来に向けての意見、提言

— 未来を生きる子ども達や親、教員、地域に求めたいことなどについて、ご意見、ご提言をお願いします。

神戸 今後、子ども達が生きていく未来においては、従来通りの方法ではうまくいかず、新たな挑戦が求められる場面が増えていくことと思います。そのため、失敗してもそれに屈せず、次に進む姿勢が非常に重要になると感じています。失敗を通じて学び、それを次に活かすことが必要です。学校は、子ども達が失敗を恐れず、さまざまなことに積極的にチャレンジできる場所であってほしいと思います。先生方も、そうした視点で子ども達を見守っていただけるとありがたいです。



神戸所長

能登 生成AIが登場してから約2年が経過し、デジタル社会がより急速に進展しており、今後はさらに速いスピードで変わっていく時代に突入しています。従来の職業とは異なり、新たな職業が次々と生まれるでしょう。昔のように、親の職業を見て将来の自分を想像することは難しいですが、逆に言えば、未来にはさらに多くの新しいものが登場するという希望を子ども達に伝えていきたいと思っています。

ダーウィンの進化論にあるように「生き残るのは強い者ではなく、変化に適応する者である。」という考え方が重要です。トライアンドエラーの精神が必要であり、前例にとらわれずにさまざまなことに挑戦し、成功体験や失敗体験を重ねる中で、変化を恐れずに進んでいくことが求められます。そうした中で、人生を楽しむための夢や希望を持てるような話を子ども達にしていきたいと考えています。

吉岡 新たな社会に向けてデジタルを通じた学びを進めています。特に小規模校では、日常的な交流や共同学習の不足をオンラインで補えるのではないかと考

えています。

本校は災害を経験した学校であり、同様の経験をした日本やバングラデシュ、フィリピン等の学校の子とも達とオンラインで繋がり交流しました。これは、デジタル技術やICT機器の進展によって実現可能となった学びであり、こうした取組を推進することが非常に重要であると考えています。

一方で、体験学習の重要性も再認識されており、実際の体験における生の失敗が学びにおいて重要です。また、失敗体験だけでなく成功体験も同様に重要であり、幼少期からの成功体験が子どもの成長に大きく影響します。デジタルと実際の体験学習のバランスをどのように取るかが、今後の教育において重要な課題だと感じています。

片岡 私の体験からお話しますと、私が就職した頃は、忙しい時期には夜2時まで働き朝8時から出勤することもあり、3ヶ月間休みなしで働いたこともあります。大変な時期でしたが、良いこともありました。技術職に従事していましたが、同じ期間で通常の労働者の2倍の経験と技術を習得することができました。そのお

陰で、緊急事態が発生した時、私達はそれに対処できる能力が備わっていました。

失敗を重ねることで、次に同じ問題に直面した際に過去の経験が役に立ちます。成功体験よりも、失敗体験を重ねることが重要だと考えています。

能登 部活動の地域移行についてお話ししたいと思います。先日、国の部活動改革に関する有識者会議での議論において「地域展開」という新たな概念が提起されました。これにより、地域全体で子ども達がスポーツや文化活動を行える環境を整えることが目指されています。

これまでの部活動は、教員に限られた手当の中で献身的に取り組んできましたが、労働環境の変化により、今のままでは持続可能ではありません。また、少子化の影響でチームが編成できない状況や、部活動の廃止によって選択肢が減少している現実もあります。これらの課題を解決するためには、地域の皆様の協力が不可欠です。今後数年のうちに、但馬地域において大きな変化が期待されますので、ぜひご協力をお願い申し上げます。

賛助会入会のお願い

但馬青少年本部では、21世紀の但馬を担う青少年の健全育成を目的とし、山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会、但馬中学生からのメッセージや但馬青少年本部長表彰など様々な事業を企画・実施しています。これらの事業は、活動趣旨にご賛同いただいた方からの賛助会費によって運営されています。当本部賛助会にご加入いただき、ご支援くださいますようお願いいたします。

寄付金制度

- 個人会員の場合 ▶ 2,000円を超える賛助会費は所得税の寄付金控除を受けることができます。
- 団体会員の場合 ▶ 特定公益増進法人に対する寄付金として、一般の寄付金とは別枠で損金算入することができます。

特典

兵庫県立免和野高原野外教育センター
兵庫県立円山川公苑美術館
兵庫県立美術館・神戸市立博物館 等
17施設の観覧料等の割引

が受けられます。

会費

個人 年間1口 2,000円
団体 年間1口 10,000円

申込

但馬青少年本部までご連絡ください。
(ご連絡後、振込用紙を送付させていただきます。)

☎0796-26-3648

【但馬青少年本部構成団体（27団体）】

| | | |
|------------------------|-------------------|------------------|
| 日本ボーイスカウト但馬地区協議会 | ガールスカウト但馬地区協議会 | 但馬地区子ども会育成連絡協議会 |
| 青少年育成運動推進指導員会 | 但馬地区薬物乱用防止指導員協議会 | 但馬ブロック老人クラブ連絡協議会 |
| 全但社会福祉協議会連絡会 | 但馬ブロック民生委員児童委員連絡会 | 兵庫県青年洋上大学但馬地区同窓会 |
| こころ豊かな人づくり500人委員会但馬08会 | 但馬自治会 | 但馬区長会連合会 |
| (一社)豊岡青年会議所 | 但馬教育委員会連合会 | 但馬教育長会 |
| 但馬社会教育委員連絡協議会 | 但馬PTA協議会 | 但馬地区県立高等学校PTA連合会 |
| 但馬地区県立学校長会 | 但馬中学校長会 | 但馬小学校長会 |
| 但馬スポーツ推進委員会 | 兵庫県豊岡こども家庭センター | 但馬方面警察署長会 |
| 但馬地区保護司会連絡協議会 | 但馬教育事務所 | 但馬県民局 |